



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1381 2023 年 11 月 27 日

ARIB からのお知らせ

「oneM2M Open IoT Industry Day」開催のお知らせ

IoT ワークショップ「oneM2M Open IoT Industry Day」を下記のとおり開催いたします。
本イベントは、oneM2M TP (Technical Plenary) の東京会合に合わせ、会合参加者を講師に
迎え開催するものです。

IoT、スマートシティにご関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしています。

記

1. 開催日時： 2023 年 12 月 6 日（水）13 時 00 分～17 時 30 分
2. 開催場所： TTC 会議室 (<https://www.ttc.or.jp/about/access>) (オンラインセミナー併用)
3. 主 催： oneM2M
4. 後 援： 一般社団法人電波産業会 (ARIB)
一般社団法人情報通信技術委員会 (TTC)
5. 定 員： 30 名 (TTC 会議室から参加する場合)
6. 参 加： どなたでも参加可能、参加費無料
7. 使用言語： 英語
8. プログラム概要：

oneM2M 専門家による IoT プラットフォーム開発の最新状況の解説及び
oneM2M 標準に基づく IoT システムの導入事例の紹介等を予定

- Introduction and overview oneM2M capabilities and values
- Cellular IoT Past, Present, and Future
- oneM2M as a Roadmap for scalable development
- oneM2M Developer Resources - how to get started
- oneM2M Testing and Certification
- Deployment examples
- Digital Twins

9. 申込み方法：事前登録制（下記 URL 参照）

※TTC 会議室から参加する場合

<https://www.ttc.or.jp/seminar/entry/20231206/form1206>

※オンラインセミナー参加の場合

<https://attendee.gotowebinar.com/register/6859723738533026648>

ITU-R 無線通信総会（RA-23）の概要報告

1. 会合の概要

ITU-R 無線通信総会（RA-23）は、ITU 無線通信部門（ITU-R）の勧告案及び決議案、研究委員会（SG: Study Group）における研究課題の承認、SG 議長・副議長の任命等の審議を行うための会議であり、通常 4 年の研究会期毎に一度開催されます。今回の RA-23 の議長は Carol Wilson 氏（オーストラリア）です。

日 程： 2023 年 11 月 13 日～17 日

場 所： アラブ首長国連邦・ドバイ

ドバイワールドトレードセンター

参加者： 各国の主管庁、事業者、ベンダー等より

1,358 名（登録総数）。日本代表団として、総務省大臣官房審議官の豊嶋基暢氏を団長に 49 名、当会から横山次長、加藤担当部長及び佐藤（拓）主任研究員が参加。



会場の様子

2. 主要結果

(1) 全体運営に関わる決議

決議 1（RA 及び SG 等の作業方法を定めた決議）において、SG 配下の作業部会（WP: Working Party）、TG(Task Group)の議長については、これまで任期が定められていませんでしたが、今回の改訂において、最長 2 期（8 年）とし、やむを得ない場合は 3 期（12 年）まで延長可能とすることが定められました。また、副議長の役割の明確化や、WP レベルで勧告案の合意に努力を尽くしてもなお反対する国があった場合でも当該反対国の懸念等を明記することで SG に提出し得ることが規定されました。

決議 2（WRC 準備会合（CPM）に関する決議）において、CPM 報告の作成プロセスが十分機能していないとの課題を解決すべく、作成指針等が改訂されました。更なる改善が必要であるとして、無線通信諮問委員会（RAG: Radiocommunication Advisory Group）

に検討を要請することとなりました。

その他、ITU-R 活動におけるジェンダ平等及び公平の促進に関する新決議を作成し、全会一致で採択しました。

(2) IMT に関わる決議、及び IMT-2030 フレームワーク勧告

決議 56 (IMT 名称に関する決議) の改訂案については特に異論なく合意され、IMT-2030 の名称が公式に認められました。

決議 65 (IMT 開発プロセスの原則) の改訂案については、新たな技術提案が無線通信規則等の規則的事項を満たすかの評価に関する追加提案に対して、技術仕様開発とは別の観点であり、またどのような評価基準とするか不明確として追加は不要との反論があり、大きな論点となりましたが、議論の結果、決議での具体的な実施事項を定める resolve 部ではなく、序文の considering 部に評価基準策定時に既存の規則的事項を考慮する旨追記することで合意に達しました。

また、上記 2 つの決議は、郵便投票プロセス中 (12/13 〆切) の IMT-2030 フレームワーク勧告案を参照しているとして、急遽当該勧告案を本会合で承認する提案がなされ、日本を含め複数の支持を受け、異論なく承認されました。

(3) SG 議長・副議長等の任命

各 SG、CPM 及び RAG の議長が任命されました。また、副議長については、候補者リストが作成され、RA-23 後初めて開催される各 SG 会合で最終決定されることとなりました。このリストには、日本から、SG4、SG5 及び SG6 の副議長にそれぞれ、河野氏 (スカパーJSAT、2 期目再任)、今田氏 (KDDI、新任)、及び大出氏 (NHK、新任) が挙げられています。

Inter BEE 2023 における ARIB/DiBEG の出展について

Inter BEE 2023 において ARIB/DiBEG の展示ブースを設け、広報活動を実施しましたので概要を報告します。

1 日程

リアル展示：2023 年 11 月 15 日 (水) ～ 11 月 17 日 (金) (於：幕張メッセ)
オンライン展示：2023 年 11 月 06 日 (月) ～ 12 月 15 日 (金)

2 Inter BEE について

国内最大の放送機器展である Inter BEE は今年で 59 回目の開催となりました。主催者の発表によると国際会議場や展示会場オープンステージでは対面でのコンファレンスが実施され、出展者数 1,005 社/団体、出展小間数 1,704 小間、登録来場者数 31,702 名と出展者・入場者共にコロナ禍 (2019 年) 以前の 80% 規模まで回復しました。

過去4年と今年の Inter BEE の規模

	出展者数	出展小間数	登録入場者数
2023年	1,005社／団体	1,704小間	31,702名
2022年 (参考)	810社／団体	1,391小間	26,901名
2021年 (参考)	495社／団体	749小間	18,308名
2020年 (参考)	140社／団体 (オンライン展示のみ)	—	—
2019年 (参考)	1,158社／団体	2,125小間	40,375名

3 ARIB/DiBEG リアル展示ブースについて

ARIB/DiBEGのブースでは、最近の放送分野の標準化の状況、次世代放送技術への取組み、及び DiBEG による ISDB-T の国際展開状況について、パネルやパンフレットを用いて説明を行いました。

ブースに立ち寄られた国内外の方々からは、ISDB-T 採用国が中南米に多くあること、ブラジルでの次世代地上デジタルテレビジョン放送方式導入に向けた競合方式の比較実験に関する最新情報、国内の標準化の進展動向等について関心が寄せられました。

4 セミナーでの講演

「IP Pavilion リレーセミナー」において、ARIB スタジオ設備開発部 機器間インタフェース作業班主任 瀧口吉郎氏（NHK 放送技術研究所 チーフリード）が番組制作用 IP インタフェース標準化について、ARIB における国内標準化及び今後の展望を講演しました。



ARIB ブースで使用した展示パネル

第 324 回 技術委員会（通信分野）を開催

第 324 回技術委員会（通信分野）を開催しました。

1. 日 時 : 2023 年 11 月 22 日（水）15 時 30 分～16 時 25 分
2. 場所・形態 : 当会第 4 会議室（Web 会議併用）
3. 議 題 :
 - (1) 第 121 回規格会議の結果について
 - (2) ITU-R WP 5A 第 30 回会合における ITS 関係の概要報告について
 - (3) ITU-R SG5 第 20 回会合及び Inter regional WS for WRC-23 の概要報告について
 - (4) CJK IMT WG 第 68 回会合の報告について
 - (5) 第 29 回 ITS 世界会議蘇州 2023 の概要報告について
 - (6) CEATEC2023 での「5G スペシャルデーV」開催報告について
 - (7) CEATEC2023 での ARIB の出展報告について
 - (8) その他

ARIB 内会合（11 月 27 日～12 月 1 日）予定

- 11 月 28 日（火）： 第 198 回電波利用セミナー オンラインセミナー
「次世代の ITS 通信」をはじめとする自動運転を巡る最近の政策動向」
- 11 月 29 日（水）： デジタル放送システム開発部会 高度化放送導入方式検討 TG Web 会議併用
- 11 月 29 日（水）： スタジオ設備開発部会 音声品質評価法作業班 Web 会議
- 11 月 30 日（木）： デジタル放送システム開発部会 映像符号化方式作業班 Web 会議併用
- 11 月 30 日（木）： 第 102 回 DiBEG 会議

国際会合（11 月 27 日～12 月 1 日）予定

- 11 月 20 日（月）～12 月 15 日（金）： ITU-R WRC-23 アラブ首長国連邦・ドバイ

総務省などからのお知らせ

「無線システム普及支援事業費等補助金（地上基幹放送等に関する耐災害性強化支援事業）」に係る提案の公募

【令和 5 年 11 月 20 日発表】

総務省は、「無線システム普及支援事業費等補助金（地上基幹放送等に関する耐災害性強化支援事業）」に係る公募を公募要領のとおり行っています。

詳細については [【令和 5 年 11 月 20 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

《 IoT・AI エンジニアに必須 》

第37回 **モバイルシステム技術検定2級**のご案内

モバイルシステム技術検定試験は、モバイルシステム構築に必要なワイヤレスデータ通信、モバイル情報端末、アプリケーション、セキュリティ、コンテンツ、M2M/IoT など構成する要素技術の理解度を計ります。システムエンジニア、コンサルタント、営業SE などモバイルシステムで活躍を目指す方々には必須資格です。

多くの企業から「取得推進資格」として認定をいただき、業界標準資格として位置づけられ、既に 83,000 人以上の方が受検されています（2023 年 3 月末現在）。

モバイルシステム技術検定試験は、モバイルシステムの基礎知識を理解する（基礎）から、モバイルシステムの広範囲な技術者として活躍いただくための 2 級、さらに高度技術者として応用力を習得する 1 級、モバイルシステム構築のコンサルタントができる SMC から構成されます。

今回推奨する「2 級」は、モバイル通信ネットワーク、モバイル端末（ハード、ソフト）、モバイルコンテンツとサービス、セキュリティなどモバイル関連業務のデバイスからクラウド全体についての検定試験です。

皆様からのお申し込みをお待ちしております。

【実施日時】 2023 年 11 月 17 日（金）～ 2024 年 1 月 15 日（月）

【募集期間】 2023 年 11 月 10 日（金）～ 2024 年 1 月 08 日（月）

【試験の方式・会場】 CBT（全国 360 カ所）

【受検料】 ARIB 会員様は割引価格となっております。

2 級：13,200 円（税込）

【受検案内の詳細と申し込み先】

https://www.mcpc-jp.org/kentei/kentei_msg_02/

【問い合わせ先】 03-5401-1735（平日：10:00-17:00）

モバイル&IoTで飛躍する

MCPC

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル2階
<https://www.mcpc-jp.org/>

検定・講習会のお問合せは



MCPC検定事務局

E-mail:msec@mcpc-jp.org

TEL.03-5401-1735

FAX.03-5401-1937



Association of **R**adio **I**ndustries and **B**usinesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp